消防ヒヤリハットデータベース事例情報シート

【事例概要について】

１．事故・ヒヤリハットの別	事故
２．体験した事例の名称	隣棟屋外階段から放水活動中、バランスを崩し筒先補助員とともに階段を転落し受傷した事例
３．体験した事例の中心的要素	防火２/０住宅１、２階が延焼している火災現場に出場し、隣棟屋外階段から注水しようと他の隊員と２名で13段目までホースを延長した。 放水を開始したところ、筒先を保持していた隊員がバランスを崩して階段で転倒・転落し、その後方 4 段でホース保持の補助をしていた隊員にぶつかり、階段を９段転落して受傷したもの。
４．体験した事例の原因・理由	足元,周囲の状況確認不足 隊員相互連携不足

【体験した事例の直接的原因について】

１．体験した事例の直接的な原因	行動の意志決定に問題があった。 行動の実行に問題があった。

【体験した事例について】

１．発生日時	平成　19 年 5 月 16 日　　午後　4 時頃
２．発生した当時の天候	曇
３．発生した活動現場	屋外：火災現場隣棟屋外階段
４．体験した事例の種類	回答者が、自分自身で負傷した。
５．事故の程度（ヒヤリハットの場合、仮に負傷したときの程度）	軽傷
６．どのようなことが起きたのか（起きそうになったのか）	墜落・転落
７．事例体験時の活動	火災、現場活動初期　[防火造建物]
８．（７の活動中）どのような作業中に発生したか	ホース延長、放水活動
９．同様の体験は、これまでにどの程度の頻度で体験していますか。	初めて体験した。

１０．事例体験者の属性（回答者は当事者Ａ）

○当事者Ａ	年齢[56]歳、 勤続年数[33]年、 現場経験年数[3] 年、 階級[消防副士長]、 同様の活動 [１年に数度]、 任務 [隊員]
○当事者Ｂ	年齢[52]歳、 勤続年数[33]年、 現場経験年数[33]年、 階級[消防副士長]、 同様の活動 [ ]、 任務 [隊員]
○当事者Ｃ	年齢[ ]歳、 勤続年数[ ]年、 現場経験年数[ ]年、 階級[ ]、 同様の活動 [ ]、 任務 [ ]
その他 （当事者が４人以上の場合）	

１１．事例発生の経過。

	誰(何)が	なにをした	その他・備考など
経過１			
経過２			
経過３			
経過４			
経過５			
経過６			
経過７			
経過８			
経過９			
経過 10			

【その事例発生時の状況について】

○事故の場合　　：事故が起きたのはどうしてだと思うか？
ヒヤリハットの場合：ヒヤリハットで済んだのはどうしてだと思うか？

体力、反射神経等身体能力が劣っていた。足元の安全が確保できていなかった。他隊(員)との連携活動がうまくいかなかった。

○心理・体調について

ａ．あせりを感じていた

・早く、現場到着や、活動をしなければならないという“あせり”を感じていた。	はい
・被害拡大が消防活動を上回っており“あせり”を感じていた。	いいえ
・周辺の野次馬などにより“あせり”を感じていた。	いいえ

ｂ．注意力が欠如していた

・１つの事象に集中し、他の事象への注意力を欠いた。	いいえ
・活動終息（鎮火等）や活動内容が些細だったため注意力を欠いた。	いいえ
・体調不良や疲れにより注意力を欠いた。	いいえ

ｃ．経験・知識が不足していた。

・活動内容が、自己の能力や技量を超えていた。	いいえ
・活動中に起こりうる危険について認知していなかった。	はい
・活動に対する経験が不足していた。	いいえ

ｄ．心身の不調があった

・体調が悪かった。	いいえ
・悩み事があった。	いいえ

〇装備・資機材について

ｅ．資機材の故障・不具合があった。

・装備・資機材自体に問題があった。	いいえ
・装備・資機材の使用方法が誤っていた。	いいえ
・装備・資機材の対処能力を超えていた。	いいえ
・必要とする装備・資機材がなかった。	いいえ

〇活動環境について

ｆ．障害物や自然環境（雨・濃煙）によって視界がさえぎられた。

・障害物（建物等）のため周囲の状況が見えなかった。	いいえ
・特異環境（煙、暗闇、降雨等）のため周囲の状況が見えなかった。	いいえ

ｇ．行動しにくい環境だった。

・狭隘な場所であった。	はい
・暑かった（寒かった）。	いいえ
・野次馬が多かった。	いいえ
・現場周辺の地理に不案内だった。	いいえ

ｈ．足場が悪かった。

・足元が躓いたり滑りやすかった。	はい
・足元の強度が不足していた。	いいえ

〇指揮・管理について

ｉ．適切な指示が得られなかった（適切な指示を与えられなかった）。

・活動指示が得られなかった。（無線が通じない等。）	いいえ
・指示内容に誤り・偏りがあった。	いいえ
・指示内容が実施困難であった。（周辺環境に、隊員技量の把握に欠けた。）	いいえ

ｋ．関係者間の情報伝達・役割分担が不十分だった。

・隊員の連携が不十分だった。	はい
・隊員が不足していた。	いいえ

〇その他

ｌ．その他の理由があった。

いいえ

【事故発生後の取り組みについて】

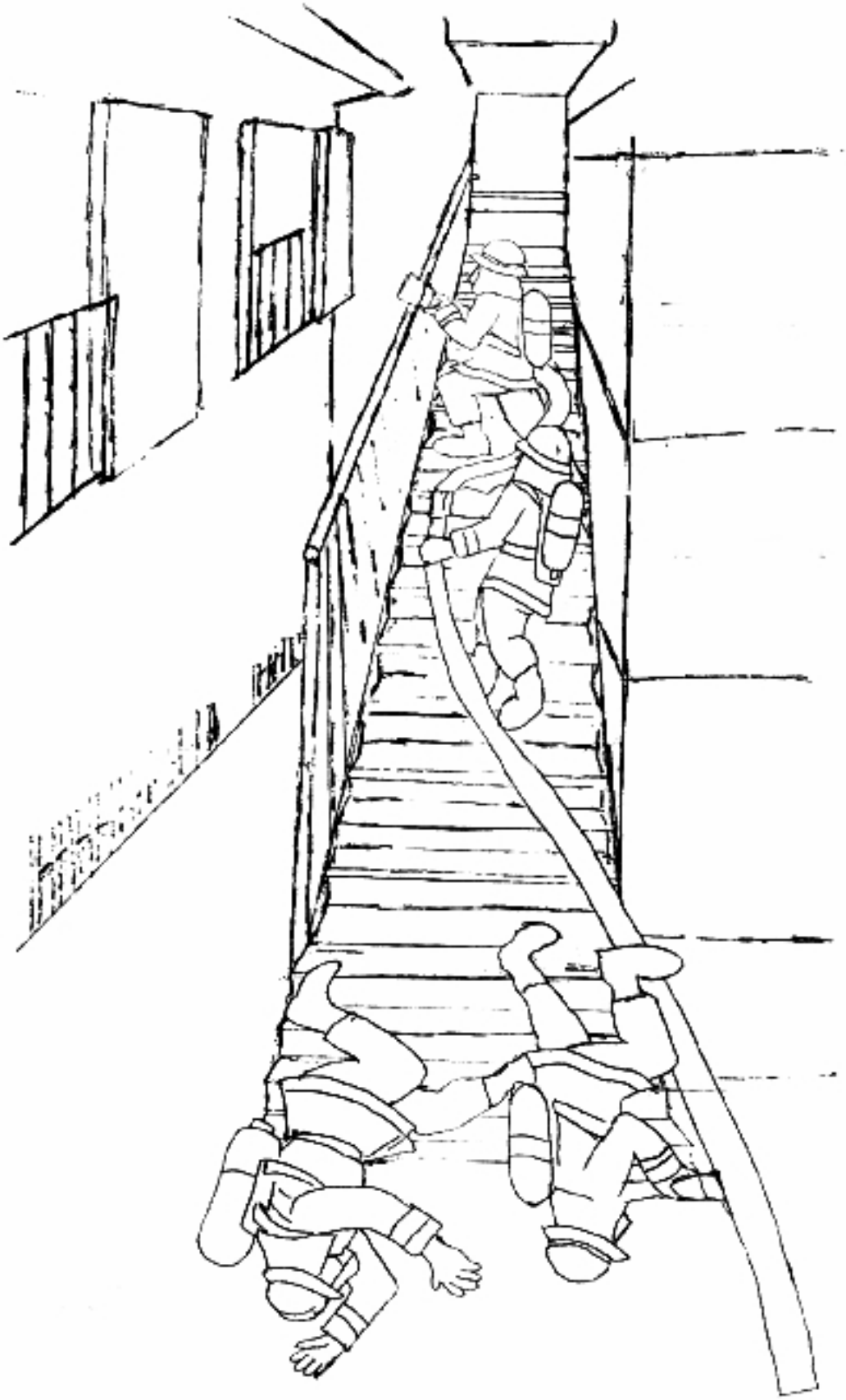
●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●

○注意力欠如、焦り等の対策について

○装備・資機材の対策について

○活動環境の対策について

○指揮・情報伝達の対策について

自己隊員の活動を確実に監視し、活動危険を察知した場合は、隊員が理解できるように具体的に指示するとともに、履行状況の確認による二重の安全確保をとるようにする。

事故発生状況図